

令和 5 年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会（第 4 回専門部会） 議事要旨

会議名：令和 5 年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会 第 4 回専門部会

日時：令和 5 年 11 月 7 日（火）18:15～19:20

場所：複合施設 KOKOTTO マルチルーム

参加者：委員 18 名（会長、副会長含む）

【以下、議事要旨】

(1) 開会、教育長あいさつ	
教育長	本日は、候補地の比較評価及び再配置する園の運営形態について委員の皆様にご議論いただきたい。
(2) 会長あいさつ	
会長	本日は、どこに園をつくるかという候補地の選定について具体的に議論を行っていただくとともに、園の運営形態についても議論をいただきたい。
(3) 認定こども園たまかわクックの森の視察結果について	
事務局	(資料 1 に基づき、たまかわクックの森の視察結果について説明)
会長	質問等ありますか。
委員	なし。
(4) 幼稚園の立地場所を選定するための条件について	
会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	(資料 2 に基づき、幼稚園の立地場所を選定するための条件について説明)
会長	統合候補地を比較評価すると、旧総合運動公園用地 B 案が最も評価が高くなった。質問等ありますか。
委員	予定地が 63,000 m <sup>2</sup> と大規模であるが、この用地全てを使った園にするということか。
事務局	旧総合運動公園用地の利活用検討委員会のなかで案として設定した教育施設ゾーンの面積が 63,000 m <sup>2</sup> であり、野球場 6 つ分くらいの広さである。この面積全てを幼稚園用地とするのではなく、このゾーンのなかでどこにどのような幼稚園を建設するかは今後検討を行う。

会長	旧総合運動公園用地には鉄塔・鉄線が存在するが、その影響はあるか。
事務局	旧総合運動公園用地の図にある黒い線は高圧鉄塔・鉄線を示している。専門家の調査結果ではないものの、十分な高さはとれているものと考えている。また、現時点で鉄塔の下に園舎を作ることは想定していない。設計を行うにあたっては、鉄塔・鉄線による電磁波を考慮する。
委員	B案が接道する道は幅員9m程度と認識している。A案が接道する道の幅員はどの程度か。
事務局	5m程度であり、車が徐行しながらすれ違える程度の広さである。
会長	他に質問等ありますか。
委員	なし。
事務局	補足の説明ですがB案の西端には消防署が立地している。この消防署は旧総合運動公園用地の利活用検討後に建設されたものであり、図には反映されていないが、消防署があるものをご認識いただきたい。
会長	今後、旧総合運動公園用地の現地視察を実施する予定である。実際に現地を見たうえで、A案かB案のいずれがよいかも含め検討していただきたい。

(5) 再配置する園の運営形態について	
会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	(資料3に基づき、園の運営形態について説明)
会長	質問等ありますか。
委員	近隣の市町村では認定こども園が増えつつあるが、そのような状況は認識しているか。
事務局	近隣では、中島村、泉崎村にはないが、須賀川、白河にはあると認識している。また、須賀川市の長沼では保育園・幼稚園が統合されて認定こども園化したと認識している。
委員	先日視察した認定こども園たまかわクックの森をみたときに、町の子育て世帯が認定こども園を求めて転出してしまおうのではないかということに不安を感じた。
副会長	保育所と認定こども園の現在の所管は内閣府ではなくこども家庭庁である。幼稚園の所管は文部科学省だが、こども家庭庁の所管にすべきという議論もあった。「幼児教育」はこれまでは幼稚園における教育と理解されていたが、教育要領の改訂により、保育園においても幼児教育を行うことが明記された。一方で幼稚園においては夕方まで保育している実態があるなど幼稚園と保育園の位置づけが近いものとなってきている。

委員	町立幼稚園には、国籍、宗教、医療的なケア、支援を要する子どもなど多様な成育環境に置かれた子どもたちがいる。そうした子どもたち一人ひとりに適切に対応できているのは町が責任をもって運営している町立幼稚園ならではの強みと認識している。幼小の交流を行うなど、小学校への接続についても力を入れている。町立幼稚園ではPTA活動も盛んであり、祭りやイベントの運営を担当している。教職員だけではなく、保護者や地域住民が一体となって子どもを育てている。幼稚園運営に携わる当事者としては、引き続きこういった点を大事にしながら子どもを育てていきたいと考えている。
副会長	資料2 ページ目の幼稚園とする場合の方で、「必要な諸室機能は現行の幼稚園と基本的に変わらない」とあるが、様々なバックグラウンドを持った子ども一人ひとりを適切に対応できるように諸室機能を強化してほしい。児童発達支援事業所と幼稚園の両方に通う子どものため、静かで物が少なく安心できるスペースなど。 他団体の公立と私立の幼稚園の職員配置を比較すると、概ね公立園が私立園の2～3倍になっているケースがみられる。公立園ではしっかりと職員配置ができる点が強みである。個人的には、子どものことを第一に考えると、幼稚園は町立で残していくべきだと考えている。
委員	あたたかい給食を子どもたちに食べさせてあげたいと考えている。給食はどのように変わるか。
事務局	幼稚園とする場合において給食室に関する記載がないのは、設置基準に照らすと必ずしも必要とされているものではないという意味であり、配置しないという意味ではない。諸室機能の強化を検討するなかで、給食センターの新設や園での給食室を配置など給食の改善についても検討したい。
委員	保護者としては、給食が幼稚園において重視するポイントの一つである。幼稚園を新設するのであれば、給食の改善についても検討いただきたい。また、町としては認定こども園化したいという認識でよいか。
事務局	0～2歳児への幼児教育・保育については民間活力により保育園・認定こども園が担っているが、町立幼稚園とバランスのよい形で共存できていると考えている。町としてはこの経緯や状況を踏まえて運営形態を考えているため、認定こども園化を進めたいという意図はない。本日も意見をいただいたとおり、十分な職員配置を確保するために町立幼稚園として存続させることが望ましいのではないかと感じている。
委員	幼稚園では「お父さんの会」という特色のある取組を行っており、どのような運営形態であったとしてもこのような取組は継続していただき

	たい。
会長	本日いただいたご意見を参考に、次回の全体会で運営形態を決められればと考えている。また、諸室機能に関してもご意見をいただいたので、次回はその点についても議論できればと考えている。

(6) 今後のスケジュール、その他、閉会	
会長	事務局説明をお願いします。
事務局	(資料4に基づき、今後のスケジュールを説明) 11月下旬に旧総合運動公園用地を視察したうえで、12月中旬の全体会で正式に候補地を決定する予定。全体会は12月14日(木)18:15に矢吹町役場大会議室にて開催を予定している。
会長	意見等ありますか。
委員	なし。
会長	本日の会議は終了となります。ありがとうございました。

以上